

## 奈良市立富雄南公民館 文学講座：

# ドイツ文学とメルヘンの世界

ドイツ文学といえば、ゲーテもヘッセも多くの作家がメルヘンを好んで書いています。本講座では、ドイツ・メルヘン街道を辿りながら、グリム兄弟の人生とグリム童話の成立過程を紹介し、伝承メルヘンの魅力に迫ります。「蛙の王さま」、「いばら姫」を事例に、グリム兄弟がどのようにして「聴くメルヘン」から「読むメルヘン」へ仕立て上げ、今日世界の子どもたちに親しまれるに至ったかをお話しましょう。

それではお話のはじまり、はじまり。

◇ 日時：平成28年2月26日(金) 全1回

13時30分～15時30分

◇ 会場：奈良市立富雄南公民館 2階 集会室

(奈良市中町501-3)

◇ 講師：奈良教育大学名誉教授



梅花女子大学客員教授

たけはら たけしげ  
竹原 威滋

研究分野はドイツ伝承文学で、グリム童話や日欧の民間説話の比較研究に従事。奈良県下で民話調査も実施。また、「奈良の民話を語りつぐ会」の代表として、地域での語りの文化の再生にも取り組んでいる。「NHK おはなしステージ in なら燈花会」の監修・解説を務める。主要著訳書に『世界の龍の話』『グリム童話と近代メルヘン』ほか。



グリム兄弟肖像



グリム童話の第2巻口絵(1819)



蛙の王さま(シュタイナウの泉)

【対象・定員】奈良市在住の成人 30名 【参加費】無料

【広報・募集】「しみんだより1月号」／奈良市生涯学習財団HP (<http://manabunara.jp/>)  
に掲載。締切：2月9日。応募者多数の場合は抽選。

【問合わせ先】奈良市立富雄南公民館 Tel：0742-48-3066